

第3次能代山本定住自立圏共生ビジョン（素案）に関する意見募集（パブリックコメント）の結果について

1. 募集期間 令和8年1月29日（木）～令和8年2月27日（金）		
2. 実施方法		
<p>(1) 公表資料 第3次能代山本定住自立圏共生ビジョン（素案）</p> <p>(2) 資料の掲載場所 【能代市】 市役所新庁舎1階市民交流スペース、ニツ井町庁舎1階市民フロア、各地域センター、富根出張所、能代市ホームページ 【藤里町】 藤里町総合開発センター1階、かもや堂1階 【三種町】 役場本庁舎インフォメーションコーナー、琴丘地域拠点センター玄関ホール、山本地域拠点センター図書室前 【八峰町】 役場本庁舎企画政策課</p> <p>(3) 意見の募集方法 所定の意見書による担当窓口への提出のほか、郵送、ファックス、Eメールにより受け付けることとし意見を募集しました。</p>		
3. 募集の結果 提出意見 2通（2項目）		
4. 意見の概要及び意見に対する回答		
番号	意見の概要	意見に対する回答
意見 1	外国人材の受け入れは地域社会での分断や軋轢を招く不安要素があり、労働力不足の解消という目的があっても、国民の税金を外国人の日本語学習支援に投じることに賛同できない。 ビジョンに盛り込むのであれば、住民説明会等周知徹底をお願いしたい。	日本全体で少子高齢化と人手不足が深刻化する中、本地域においても労働力の安定的な確保は喫緊の課題となっており、既に多くの事業所で外国人材を受け入れ、様々な業種で活躍しております。 外国人材の受け入れにあたっては、言葉の壁や文化・習慣の違いから来る誤解や偏見が生じることが懸念されます。このため、本市では、外国人材と地域住民が互いに理解を深め合い、共生して行くことが重要であると考えており、日本語学習支援や互いの文化を学びあう機会の創出等により、外国人材も地域住民も安心して生活できる環境を整えていくこととしております。
意見 2	欧州の失敗事例や国内の治安・文化摩擦の懸念から外国人材対策に対する公金投入を見直し、能代の若者への投資を最優先すべき。計画を進めるなら、住民への情報提供と住民合意の形成のうえ試行的な導入を行い、その影響評価の仕組みを明記すべき。	取組状況については、広報誌やウェブサイト等を通じて随時公開し、地域の皆様の理解が得られるよう情報発信に努めるとともに、取組に関するKPIを設定し、評価・検証を行うこととしております。